

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22013		事業名	公共下水道施設整備事業				評価分類	A1	
	事業手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()									
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	13:下水道事業会計			
		基本施策	03:上下水道の充実				款	資1:資本的支出			
		施策の方向	02:生活排水対策の推進				項	01:建設改良費			
重点プロジェクト	-			目	01:管渠整備費						
	事業期間	H 6 年度 ~ R 17 年度		主な根拠法令等	下水道法、都市計画法				担当部署		
② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)		事業の対象(誰に、何に対して)		事業の目的(どのような状態にしたいのか)		事業の内容(どのような取組を行うのか)				
	公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質保全に資するほか、社会生活に必要なインフラであり快適で住みやすい環境づくりに寄与することが下水道の基本的役割であることから、公共下水道の整備を推進する。		下水道処理区域内の市民		生活排水処理アクションプログラムに基づき、下水道未普及地域での計画的な公共下水道の整備を推進し、生活排水を適切に処理することにより、快適な生活環境と健全な水環境を維持する。		生活排水処理アクションプログラムに基づき、公共下水道未普及地域における下水管渠整備を推進するため、管路工事等を実施する。				
③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画		○管渠工事 ○管渠設計		○管渠工事		○管渠工事		○管渠工事 ○生活排水処理アクションプログラム見直し		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		亀山市公共下水道事業計画(変更)に基づき、事業拡張区域の測量・設計業務を実施した。また、国庫補助金の財源確保に努め、一部区域において工事が繰越しとなったが、下水道未普及地域の管渠整備を実施し、公共下水道整備の進捗が図れた。		国庫補助金の財源確保に努め、一部区域において工事が繰越しとなったが、川崎町・阿野田町・天神三丁目ほか地区において下水道未普及地域で約3.7kmの管渠整備を実施し、整備(供用)面積で17.1haの公共下水道整備の進捗が図れた。		国庫補助金の財源確保に努め、一部区域において工事が繰越しとなったが、川崎町・阿野田町・天神三丁目ほか地区において下水道未普及地域で約2.2kmの管渠整備を実施し、整備(供用)面積で11.7haの公共下水道整備の進捗が図れた。		国庫補助金の財源確保に努めるとともに、一部区域では工事が繰り越しとなったものの、川崎町・阿野田町・椿世町・布気町ほかの未普及地域において約3.4kmの管渠整備を実施し、整備(供用)面積15.2haまで拡大した。また、全体計画区域および事業計画区域について、地域ニーズに加え、より経済的・効果的な整備手法とするため、生活排水処理アクションプログラムの見直しを実施した。		
	計画額	事業費	600,000千円	565,941千円	600,000千円	660,500千円	508,600千円	506,100千円	694,800千円	727,400千円	
		国・県支出金	241,000千円	211,400千円	241,000千円	272,600千円	195,300千円	162,930千円	286,700千円	265,660千円	
		地方債	329,000千円	322,800千円	329,000千円	368,900千円	287,800千円	312,700千円	373,400千円	413,900千円	
		その他	30,000千円	31,741千円	30,000千円	19,000千円	25,500千円	30,470千円	34,700千円	47,840千円	
		一般財源		0千円	0千円	0千円		0千円		0千円	
	決算額	事業費		565,941千円		555,103千円		458,759千円		682,495千円	
		国・県支出金		211,400千円		233,000千円		162,930千円		265,660千円	
		地方債		322,800千円		321,200千円		244,800千円		375,800千円	
		その他		31,741千円		903千円		51,029千円		41,035千円	
一般財源			0千円		0千円		0千円		0千円		
①期間内計画額(R4-7)		2,403,400千円		②期間外計画額(R8-)		7,100,000千円		①+②総計画額		9,503,400千円	

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	140,400千円
当年度の最終予算額	621,500千円
次年度への繰越額	34,500千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	公共下水道普及率	各年度末の普及率(公共下水道整備人口／住民基本台帳人口)	成果	%	計画値	62	63	64	66
					実績値	62	63	64	65
	公共下水道整備率	各年度末の整備率(公共下水道整備面積／公共下水道全体区域面積)	成果	%	計画値	58	60	62	65
					実績値	60	61	62	63
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	B	令和7年度の整備状況は、供用開始面積15.2ha、供用区域人口370人であった。その結果、公共下水道の普及率及び整備率の目標値を概ね達成し、計画的な整備の推進により、快適な生活環境と健全な水環境の維持に資する成果が得られた。あわせて、計画どおり生活排水処理アクションプログラムの見直しを実施し、改定版を策定した。
	まずまず成果を得た	

事業の対象	事業の目的
下水道処理区域内の市民	生活排水処理アクションプログラムに基づき、下水道未普及地域での計画的な公共下水道の整備を推進し、生活排水を適切に処理することにより、快適な生活環境と健全な水環境を維持する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	円滑な整備の推進に向け、引き続き国等の財源確保に努める必要がある。生活排水処理アクションプログラムの整備対象区域については、地域のニーズを踏まえて見直しを行ったところであり、これにより普及率及び整備率の一層の向上を図り、快適な生活環境と健全な水環境の維持に努める。さらに、事業への理解を促進し協力を得るため、従来の地域説明会に加え、十分な情報発信を行うことが重要である。

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの 交付金の内示率が年々減少傾向にある中、未普及地域における公共下水道整備を計画的に推進するため、財源確保に加えて、公共下水道への接続意思等の地域のニーズを把握・検証し、令和7年度に策定した生活排水処理アクションプログラムに基づき、流域関連亀山市公共下水道事業の変更計画を策定する。	令和9年度以降で対応するもの 令和8年度に策定した流域関連亀山市公共下水道事業変更計画に基づき、公共下水道の普及促進及び持続可能な事業運営の確立を図る。

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定	A	A	A	B
	事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

1次評価者	上下水道部 下水道課 下水道工務GL 谷 徹
最終評価者	上下水道部 下水道課長 櫻井 友弥